

1. 製品及び会社情報

製品名	MLC 30
製品コード	450387-KR04
SDS 番号	450387
供給者	ビーピー・ジャパン株式会社 マリン ルブリカンツ 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー20F 電話番号 03-5719-7930 (受付時間: 平日 月曜日～金曜日 9:00～17:00) ファクス番号 03-5435-2260
緊急連絡先	ケアケム: 3 4578 9341 (24時間受付) (海外から: +81 3 4578 9341)
物質または混合物の確認された用途および警告される用途	
物質/製剤の使用方法	エンジンオイル 具体的な用途についてのアドバイスは、「テクニカルデータシート」を参照するか、またはお客様窓口にお問い合わせください。

2. 危険有害性の要約

GHS分類	分類されていない。
GHSラベル要素	
注意喚起語	注意喚起語なし。
危険有害性情報	重大な作用や危険有害性は知られていない。
注意書き	
安全対策	該当せず。
対応	該当せず。
保管	該当せず。
廃棄	該当せず。
分類されていない他の危険有害性	皮膚の脱脂。

3. 組成及び成分情報

単一製品、混合物の区別	混合物
化学物質を特定する他の方法	データなし。

表示成分	%	CAS 番号	官報公示整理番号(化審法)	労働安全衛生法
基油-高度精製	93.731 - 93.813	多くの種類	(9)-1692	168
HOBカルシウム分岐アルキルフェノキッド硫化物	1.23	90480-91-4	データなし。	データなし。
長鎖アルキルスルホン酸カルシウム	0.42	68610-84-4	データなし。	データなし。

提供者の現在の知識の範囲および該当する濃度では、本製品の補足的な成分の中には健康または環境に対して有害危険性であると分類されるためこのセクションで報告が義務づけられている成分は含まれていません。

職業性暴露限界がある場合、セクション8に記載されている。

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	水で口を洗浄する。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	皮膚を石鹸と水で洗浄するか、または認定された皮膚洗浄剤を使用する。汚染された衣服および靴を脱がせる。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
目に入った場合	すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。医師の診断を受ける。
応急措置をする者の保護 医師に対する特別注意事項 特定の治療法	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 処置はおおむね対症療法とし、作用を和らげるようにすること。 特定の治療法はない。

5. 火災時の措置

消火剤

適切	火災に応じた消火剤を使用する。
不適切	ウォータージェットを使用してはならない。
特定の危険有害性	火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。

有害な熱分解生成物	分解生成物には以下の物質が含まれることがある： 二酸化炭素 一酸化炭素 硫黄酸化物類 金属酸化物
-----------	--

消防士用の特別な防具と予防措置

火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消防士用の特殊保護具

消防士は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェイス部分を備えた自給式の呼吸器具 (SCBA) を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。適切な個人保護装置を着用する。

環境に対する注意事項

漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染 (排水、水路、土壌または大気) を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込めおよび洗浄に関する方法および材料

少量流出	危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。
大量流出	危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。漏出物を廃水処理施設に洗い流すか、または以下の指示に従う。本製品がこぼれたら、砂、土、パーミキュライト、珪藻土等の非可燃性の吸収剤でこぼれを封じ込めた後、容器に集め、現地法に基づき廃棄する (セクション13を参照)。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。注意: 接触時の情報はセクション1を、廃棄処理はセクション13を参照して下さい。 海上に流出した場合、管轄の政府・規制機関によって承認された場合、承認されている分散剤を使用することができる。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。

安全に保管するための注意事項

現地法に従って保管する。容器は換気の良い冷所に保管する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度

表示成分	暴露限界値
基油-高度精製	JSOH (日本)。 TWA: 3 mg/m ³ 8 時間。形状: オイルミスト (鉱物油)

推奨される測定方法

当製品が暴露限界を有する物質を含む場合、個人、作業場の空気、あるいは生物学的なモニタリングを行い、換気等の管理手段の有効性、および呼吸器保護具を使用する必要性、あるいはそのいずれかを明らかにする必要がある。

適切な技術的管理

特別な換気設備は必要ない。全体換気装置は作業者が暴露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。もしこの製品が暴露限界を有する成分を含有する場合は、工程の密閉、工程ごとの排気設備、あるいはその他の工程管理対策を用いて作業者の空気中の汚染物質への暴露を、推奨あるいは規制された限界以下に保つこと。

環境暴露管理

換気装置および作業工程装置からの排出物を検査し、環境保護の法律規制の要件に適合していることを確認しなければならない。場合によっては排出物を許容レベル以下に下げたために煙霧清浄機やフィルター、あるいは行程装置の技術的改良が必要になることもある。

取扱者の保護措置

衛生措置

化学製品の取り扱い後は、食事、喫煙およびトイレの使用前および作業時間の最後に、必ず手、前腕および顔を洗う。汚染された可能性のある衣類を取り除く際には、適切な技術を用いる。汚染された衣類は、再着用の前に洗濯する。作業場所の近くに洗眼スタンドと安全シャワーが設置されていることを確認する。

呼吸器の保護具

リスク評価により必要性が示されたときは、承認された基準に合格した、身体に良く合った空気清浄機能付きまたは給気式の呼吸保護具を使用する。使用する呼吸保護具は、既知もしくは予測される暴露量、製品の危険有害性、選択される呼吸保護具の安全作動限度に基づいて選択しなければならない。

手の保護具

リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。

目の保護具

側方遮蔽のある保護眼鏡。

皮膚の保護

作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならない。さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

一般的な情報

外観

物理的状态

液体。

色

透明。

臭い

データなし。

引火点

密閉式: 218° C (424.4° F) [ペンスキー・マルテンス]

自己発火温度

データなし。

爆発性

データなし。

爆発限界

データなし。

蒸気圧

データなし。

蒸気密度

データなし。

揮発性

データなし。

蒸発速度

データなし。

臨界温度

データなし。

製品名	MLC 30	製品コード	450387-KR04	ページ: 3/6
バージョン	1	発行日	2011 2月 8	フォーマット 日本
				言語 日本語
				(JAPANESE)
		Build 2.0.0	(Japan)	

9. 物理的及び化学的性質

酸化的性質	データなし。
粘度	動粘度: 103 mm ² /s (103 cSt) @ 40° C 動粘度: 11.5 mm ² /s (11.5 cSt) @ 100° C
pH	データなし。
沸点 / 範囲	データなし。
融点 / 範囲	データなし。
液滴点	データなし。
比重	データなし。
密度	894.2 kg/m ³ (0.894 g/cm ³) @ 15° C
溶解度	水に不溶。
常温での溶解性(g/l)	データなし。
分散性	データなし。
分配係数 (LogKow)	データなし。
留意点	データなし。

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	製品は安定である。
危険な反応の可能性	通常の貯蔵および使用条件下で、有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	明確なデータは無い。
混触危険物質	明確なデータは無い。
危険有害な分解生成物	通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

最も重要な健康への影響

起こりうる急性毒性

吸入した場合	重大な作用や危険有害性は知られていない。
飲み込んだ場合	重大な作用や危険有害性は知られていない。
皮膚に触れた場合	皮膚の脱脂。乾燥肌及び炎症を引き起こすことがある。
目に入った場合	重大な作用や危険有害性は知られていない。

起こりうる慢性毒性

概要	重大な作用や危険有害性は知られていない。
吸入した場合	重大な作用や危険有害性は知られていない。
飲み込んだ場合	重大な作用や危険有害性は知られていない。
皮膚に触れた場合	長期間あるいは繰り返して接触すると、皮膚を乾燥させ、炎症、ひびわれ、及び皮膚炎を引き起こすことがある。
目に入った場合	重大な作用や危険有害性は知られていない。
発がん性	重大な作用や危険有害性は知られていない。
変異原性	重大な作用や危険有害性は知られていない。
催奇形性	重大な作用や危険有害性は知られていない。
発育への影響	重大な作用や危険有害性は知られていない。
生殖能力に対する影響	重大な作用や危険有害性は知られていない。

物理的・化学的および毒物学的な特性に関連する症状

吸入した場合	明確なデータは無い。
飲み込んだ場合	明確なデータは無い。
皮膚	有害症状には以下の症状が含まれる: 刺激 乾燥肌 ひびわれ
目	明確なデータは無い。

呼吸に対する危険有害性

製品名	MLC 30	製品コード	450387-KR04	ページ: 4/6
バージョン	1	発行日	2011 2月 8	フォーマット 日本
				言語 日本語
				(JAPANESE)
		Build 2.0.0	(Japan)	

11. 有害性情報

データなし。

急性毒性推定値(ATE値)

データなし。

その他の情報

データなし。

その他の慢性毒性データ

使用済みエンジンオイル:

内燃機関エンジンを稼働させると、使用中に燃焼生成物がエンジンオイルを汚すことになります。使用済みオイルには、皮膚がんを引き起こす可能性のある有害物質が含まれる場合があります。そのため、頻繁にあるいは長時間、どんなタイプのオイルでも使用済みオイルに触れることは避けるべきです。また、個々の衛生管理を徹底するべきです。

12. 環境影響情報

環境作用

重大な作用や危険有害性は知られていない。

移動性

データなし。

その他の悪影響

重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要があります。大量の老廃物質残渣は、下水設備を通して廃棄してはならず、適切な廃水処理施設で処理しなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

適用法令	国連番号	輸送固有名称	クラス	PG*	ラベル	追加情報
IMDGクラス	規定なし。	-	-	-		-
IATA クラス	規定なし。	-	-	-		-

PG* : パッキンググループ

15. 適用法令

日本の管理法令

消防法

第4類 第四石油類

指定数量

6000 L

性質

非水溶性。

危険等級

第三種

日本 - 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 (PRTR)

表示成分

Status

濃度

Ref. number

記載された成分なし。

このMSDSは改正PRTR法に対応しています。

労働安全衛生法 - 名称等を通
知すべき危険物及び有害物

該当

在庫リスト

日本インベントリー(ENCS)(既存
及び新規化学物質)

未確定。

米国インベントリー(TSCA 8b)(有
害物質規制法 8b)

全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。

REACH状況

この製品のREACH状態については、セクション1で指定している連絡担当者にご照会ください。

製品名	MLC 30	製品コード	450387-KR04	ページ: 5/6	
バージョン	1	発行日	2011 2月 8		
		フォーマット	日本語	言語	日本語
		Build 2.0.0	(Japan)		(JAPANESE)

15. 適用法令

オーストラリア化学物質インベントリー(AICS)	全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
カナダの一覧表 (DSL)	全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
中国インベントリー (IECSC)(中国既存化学物質インベントリー)	未確定。
韓国インベントリー (KECI)(韓国既存化学物質インベントリー)	全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
フィリピンインベントリー (PICCS)(フィリピン化学品および化学物質インベントリー)	全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。

16. その他の情報

ヒストリ

発行日/改訂版の日付	2/8/2011.
前作成日	前もって確認されていない
作成者	Product Stewardship 日本における略号キーは下記の通りです。 GHS = グローバル・ハーモナイズド・システム CAS Number = ケミカルアブストラクトサービス登録番号 ISHL = 産業上の安全・健康に関する法 OSHL = 職業上の安全・健康に関する法 PRTR = 特定化学物質の環境への放出に関する報告とその管理改善促進に関する法 ENCS = 既存および新規化学物質 METI = 経済・通商・産業省 OEL = 職業上の被曝制限 JSOH = 日本産業衛生学会 TWA = 時間加重平均 STEL = 短時間被曝制限 IMDG = 物品の海上輸送に関する国際海事機関規則 IATA = 国際航空協会 UN Number = 国連番号、危険物品の輸送に関する国連専門家委員会によって割り当てられた4桁の番号

前バージョンから変更された情報を指摘する。

注意事項

本データシートは正確を期する為に、あらゆる実用的な手段を講じており、本データシートに含まれる健康、安全および環境情報は資料発行日において正確なものです。しかしながら、本データシートに記載されているデータおよび情報の正確性や完全性に対して何らの保障をするものではありません。尚、本データシートの情報および注意事項は、本製品の通常取り扱いを対象としたものであり、弊社のアドバイスなしに特殊な取り扱いをしないでください。

本製品を安全に使用し、すべての法律および規定に準拠することは、取り扱う事業者の責任です。弊社は使用者の特別な用途での使用、注意事項の無視、または材料固有の性質により生じた障害や損傷には責任を負いません。業務用として他の事業者にも本製品を提供する購入者は、本製品の使用者に本データシートの情報を提供するために必要なあらゆる手段をとる義務があります。本製品を取り扱う事業所の事業主は、本データシートに記載されている危険性および従うべき注意事項について、関わりのある従業員および関係者に通知する義務があります。

製品名	MLC 30	製品コード	450387-KR04	ページ: 6/6	
バージョン	1	発行日	2011 2月 8		
		フォーマット	日本語	言語	日本語
			(Japan)		(JAPANESE)
		Build 2.0.0			